

歳出

身近な難しい相談は

質疑 民生児童委員の相談支援件数が多いが、委員だけで解決できないような場合はどうしているのか。

答弁 委員が相談を受けて

解決できないものは、役場や福祉事務所を通じて相談に応じています。生活保護、身体障害者の生活、児童虐待などです。

乳幼児の健診の現況は

質疑 乳幼児健康診査の該当者350名に対して受診者が300名と若干少ないですが、未受診者の中に幼児虐待などが含まれていないか心配です。

れたとか、里帰りし実家に行っている等です。虐待については、乳幼児健診とか歯医者さん等で見つかる例が一番多いと思われるので、健康推進づくり協議会の母子部会とも連携をとっていきます。

答弁 健診該当者と受診者の差ですが、いろいろな原因があり、例えば未熟児で生ま

保育所の待機児童数は

質疑 保育所の待機児童数はどうなっているか。

答弁 船岡保育所は定員160名で、待機児童は現在11名、

榎木保育所は定員130名で待機児童は現在10名、西船迫保育所は定員130名で待機児童は現在4名です。

健診の後の指導は

質疑 基本健康診査で要観察、要指導が多いが健康診査の後どのように指導しているか。

答弁 基本健康診査の事後指導として、訪問指導、個別フォローを61名に実施し、生

活習慣病対策として30名ほど食事相談を受けております。要観察では、自己管理が主に、再検査で町内医療機関に320名ほど受診している実態です。

犬の予防注射と飼い方指導を

質疑 登録犬は2千495頭いるのに、予防注射は2千181頭しか受けていないが、狂犬病予防と犬の飼い方等の指導の機会からも問題があるのではないか。

答弁 314頭の犬が予防注射を受けておりません。予防注射を受けていないのは、高額な犬とか、また独自でお医者さんの注射を受け役場に届

けない例もあります。また、老犬ですとお医者さんが注射をしないと申しております。新聞で「狂犬病注射が本当に必要なのか」と報道された影響もあるかもしれませんが、いずれにしても町内24、25カ所を回って注射しておりますので、そこで犬の飼い方やマナーを呼びかけております。

下水道工事の埋め戻し

質疑 下水道工事後の埋め戻しが、ぼこぼこことなっているが修復はどうするのか。

答弁 工事後一年間は無過失補償という契約になって

おります。そのため工事は仮舗装ということで、次年度に本復旧をするようになっております。